

数値化方式

人事評価記録書(医師・医長級)例

評価期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名:

期末面談 平成 年 月 日

1次評価者 所属・職名:	氏名:	1次評価記入日: 平成 年 月 日
2次評価者 所属・職名:	氏名:	2次評価記入日: 平成 年 月 日
確認者 所属・職名:	氏名:	確認日: 平成 年 月 日

(I 能力評価) ※ 部分が標準配点の行動。

評価項目及び行動／着眼点	配点	自己申告		1次評価者		2次評価者	
		点数	(コメント:必要に応じ)	(所見)	点数	点数	点数
<倫理> 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服従規律を遵守し、全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。							
服従規律 <ul style="list-style-type: none"> イ) 下記のいずれにも該当しない場合。 7 ロ) 医師としての自覚に欠く行為又は職場の士気を低下させるような服従規律に反する行為が複数回ある。 5 ハ) ロの事項について、改善されない。 3 							
<知識・技術・診療> 高度な医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診療を行う。							
診療 <ul style="list-style-type: none"> イ) 高度な医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例についての適切な診療を行っている。 7 ロ) 業務の遂行に必要となる知識・技術に基づき、的確な診療を行っている。 5 ハ) 業務知識・技術の不足により、的確な診療に軽度の支障をきたしている。 3 ニ) ハの事項について、改善されない。 1 							
専門知識・技術 <ul style="list-style-type: none"> イ) 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮している。 5 ロ) 積極的に知識や技術の向上に努めていない。 3 ハ) ロの事項について、改善されない。 1 							
<信頼関係の構築> 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築する。							
協調性 <ul style="list-style-type: none"> イ) 自らの担当業務を超えて、他部署等の業務に対し、自ら進んで支援し組織全体の業務遂行に取り組んでいる。 8 ロ) 上司・部下や他部署等の担当者として協力的な関係を構築し、全体の業務遂行に支障を来すことがない。 7 ハ) 業務遂行の過程で全体の業務遂行に支障をきたす非協力的な行為が複数回ある。 5 ニ) ハの事項について、改善の努力を行わない。 3 							
説明 <ul style="list-style-type: none"> イ) 親切、適切な応対や十分な説明により、苦情、トラブルを招くことがない。 7 ロ) 不適切な応対又は説明不足により、苦情やトラブルを招いている事実が複数回ある。 5 ハ) ロの事項について、改善されない。 3 							
<患者等への説明・指導> 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。							
説明・指導 <ul style="list-style-type: none"> イ) 患者等に対し、適切なインフォームドコンセントを行っている。 7 ロ) 患者等に対し、説明不足により適切なインフォームドコンセントを行っていない。 5 ハ) ロの事項について、改善の努力を行わない。 3 							
患者等への応対 <ul style="list-style-type: none"> イ) 患者等に対し、親切、適切な応対を行い、円滑なコミュニケーションを行う。 7 ロ) 患者等に対し、不適切な応対により、苦情やトラブルを招いている事実が複数回ある。 5 ハ) ロの事項について、改善されない。 3 							
<部下の育成・活用> 部下の指導、育成及び活用を行う。							
部下の育成・業務配分 <ul style="list-style-type: none"> イ) 部下の能力を適切に把握して適切な指導及び業務配分を行う。 5 ロ) 部下の能力を適正に把握しておらず、適切な指導及び業務配分が行えていない。 3 ハ) ロの事項について、改善されない。 1 							

【合計点数等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(合計点数)	(所見)	(合計点数)

評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期首面談	平成	年	月	日
期末面談	平成	年	月	日

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	氏名:	1次評価記入日: 平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	氏名:	2次評価記入日: 平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	氏名:	確認日: 平成	年	月	日

(Ⅱ 業績評価)

【1 目標】

番号	業務内容	目標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	レベル	ウエイト	自己申告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	1次評価者			2次評価者			
						(所見)	達成度	評価	点数	達成度	評価	点数
1	医療行為の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者の病状を的確に把握するため、自ら回診を行うだけでなく、若手医師や研修医、看護師に適切に指示するとともに、毎日ミーティングを行うことで情報を共有し、適宜・適切な治療を行う。 患者に対して、病状・治療方針を適切に説明し、患者の家族も含めて相互の信頼関係を築いたうえで、患者の意思を尊重した医療行為を行う。 〇〇外科業務の向上のため、〇月までに△△治療の研究を行い、今年度中に国内外の学会活動を通し、情報発信をしていく。 	B	40%	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティング等を通じて、若手医師及び研修医や看護師とも情報共有を進めたことで、患者の症状を的確に把握でき、適切な治療が行えた。 入院患者に病状・治療方針を適切に説明しており、患者の意思を尊重した医療行為が行えた。 △△治療の研究は〇月までに終え、院内への情報提供のほか、国内及び国外の学会においては、計〇回の発表を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日ミーティングを行い、若手医師及び研修医、看護師との情報共有ができ、適切な治療が行っていた。 入院患者に適切な説明が行えており、患者の意思を尊重した医療行為ができていた。 △△治療の研究と院内への情報提供等に加え、国内外の学会で〇回の発表を行い、医療強化を進めた。 	T3	50	20.0	T3	50	20.0
2	地域医療連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> △△疾病について、他の病院と連携して、〇月までに新たに地域医療連携バスを作成する。 積極的に地域医療機関を訪問し、相互の役割や専門分野を確認する。地域医療機関からの紹介状総数を昨年度より〇%増加を目指す。 周辺医療機関との積極的な情報交換を進めるため、地域で開催される事例発表会や研究会に年〇回以上参加して交流を進めるとともに、自らの研究成果について発表する。 	B	30%	<ul style="list-style-type: none"> 県内の医療機関と連携をとり、△△疾病に対するバスの確立に向けた取組を実施した。 地域の開業医を訪問し、双方の役割・専門分野について相互理解し、医療連携の構築を行った。結果的に地域医療機関からの紹介状枚数が昨年度に比べて、〇%増加した。 地域で開催される研究発表会や事例発表会に積極的に参加(計〇回)し、自らの研究分野について発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> △△疾病に対するバスを作成したことにより、患者にとっても早期退院が実現されるものと思われる。 医療機関を積極的に訪問し、お互いの立ち位置を確認しただけでなく、紹介状枚数の増加にもつながった。 年〇回の研究会等に参加し、自らの研究分野を発表するなど、情報交換を進め、地域との交流が行っていた。 	T3	50	15.0	T3	50	15.0
3	医療体制の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師による合同研修会を〇回以上開催し、連携強化を進め、医療体制の強化を図る。 組織的に研修医や若手医師に対する指導を行うため、指導要領を△月までに作成し、効率的な人材育成を進める。 医療事故事例や危険事例の検討など、医療安全に関する研修会・報告会を〇回以上開催し、事故防止に向けた取組を進める。 当院における重要課題である◇◇医の育成のため、学会での研修への参加を促すとともに、他病院との連携を深める。 	B	30%	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師による合同研修会を目標を上回る△回開催することで、医療体制の強化につなげられた。 若手医師や研修医向けの指導要領を△月に作成するとともに、月〇回の勉強会を定期的で開催することで、若手医師等への指導が組織的に行えるようになり、医療体制の強化に貢献できた。 ◇◇医について、〇名が学会での研修に参加した。また、△△病院より講師を招いての勉強会を〇回開催するとともに、人事交流で来期からは〇名の人員を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師による合同研修会を目標を上回る△回開催するなど、医療体制強化に向けた取組を進めていた。 若手医師や研修医向けの指導要領を△月に作成したことに加え、月〇回の勉強会を開催するなど、人材育成に積極的に取り組んでいた。 ◇◇医の人材育成のため、学会での研修の利用を促すとともに、他病院との連携を深めた。 	T2	65	19.5	T2	65	19.5
4	※上記の記述はあくまで例示です。											

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	レベル	ウエイト	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	1次評価者			2次評価者			
					(所見)	達成度	評価	点数	達成度	評価	点数
							0	0		0	0
							0	0		0	0
							0	0		0	0

【3 合計点数等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(合計点数)	(所見)	(合計点数)

総括表	1次評価	2次評価	合計
能力評価			
業績評価			